



短期大学卒業式 2021年3月11日 (説明は8面)



題字 初代学長・森本静子先生

第 64 号

発行所 〒164-8638
東京都中野区本町6-38-1
一般社団法人
新渡戸文化学園同窓会
電話 03-6382-8614
FAX 03-6382-8615
同窓会e-mail
dosokai_nitobebunka@titan.ocn.ne.jp
発行人 能村 佳子
編集人 森本 光生
印刷所 ㈱ 英揮ビジネス

同窓会の現状
その後のご報告

新型コロナウイルスについてはワクチンの接種が始まり、収束もすぐそこ迄来たような期待がありました。が、感染力が更に強いといわれる変異株が猛威を振るい、ストレスの溜まる日々は残念ながらまだまだ続きそうです。

そんな中の同窓会の活動です。で、やはりイベントが全く開催できず、何度話し合っても延期、そして中止を繰り返すしかなく、先の予測ができません。一月の「成人を祝う会」(今後「はたちを祝う会」になります)や、二月の「〇の会」にご出席予定の方々が、楽しみにしてくださっていたこと、思いますので、本当に申し訳なく、我々も残念な気持ちで一杯です。

また、学園との関係については、一つ未解決の問題があり、その件について意見が合致せず、話し合いを続けて参りました。と申しますのは、現在から三年ほど遡る学園創立九十周年記念の寄付について、前同窓会会長(現同窓会名誉会長)の森本晴生氏と、当時同窓会副会長(現監事)の森本光生氏が、学園に対し口頭で二千万円の寄付を約束したというものでしたが、その話は同窓会が関わるこ

となく交わされたとされるもので、同窓会としては九十周年には、以前にもご報告しましたように、P&Gをはじめ、各校に千二百万円を超える教材を寄付しておりました。しかしその約束したとされる二千万円について学園から話し合いの都度請求がありましたので、実際にどのような約束であったのかをご二人に確認をしましたところ、ご二人とも約束はなかったとの証言があり、証拠も無いことから、いくら話し合っても時間の無駄ということとなり、やっとなら解決に至りましたので、安堵しております。

そして、これから取り組むべきもう一つの問題は会費の代理徴収についてです。過去に於いては学園が長い間、徴収をしてくださっていましたが、三年ほど前に打ち切りになってしまいました。会費徴収が困難なため赤字に繋がり、教材等の寄付も不可能となって参ります。再度代理徴収の復活をお願いし続けて参りまして、やっと条件付きで考えてくださることとなりました。なので、これから学園と同窓会が以前のように持ちつ持たれつの関係が末永く続くような話し合いが出来ることを願って、協議を続けてまいります。結果は次号でご報告させていただきます。

会長 能村 佳子

同窓会は二〇一八年4月から一般社団法人新渡戸文化学園同窓会として登記し活動しています。また同時に従来の幹事会・総会から同窓会会員から選出された代議員による代議員総会へと変更しております。代議員の任期は四年で現代議員の皆様にはご連絡しておりますが来年二〇二二年3月末までとなっております。

副会長 河原英一

貸借対照表		経常増減の部	
Ⅰ．資産の部		経常収益	
流動資産の合計	136,198,275	年会費収入計	2,925,000
固定資産の合計	522,000	寄付金収入	964,000
資産合計	136,720,275	事業収益	0
Ⅱ．負債の部		雑収益	3,563
流動負債	2,624,800	経常収益計	3,892,563
固定負債	0	経常費用	
負債合計	2,624,800	事業費	2,254,514
Ⅲ．正味財産の部		管理費	3,800,739
正味財産合計	134,095,475	経常費用計	6,055,253
負債及び正味財産の合計	136,720,275	当期経常増減額	△ 2,162,690

[illegible]

ご寄付御礼

二〇二〇年度、同窓会活動充実のためご寄付(一口千円)を
お願いしましたところ、百八十八名の会員各位より
合計金九十六万四千円のご寄付をいただきました。
以下に、お名前を記して感謝の意を表します。

同窓会役員一同

相賀静子	伊藤敦子	加藤まゆみ	権田まり子	高山春子
青木久仁子	伊藤健太	上條仁子	近藤直美	瀧井美早子
青木恵子	伊東孝子	神長美音子	斉藤園枝	辻 明美
青木純子	岩井光子	川口素子	斉藤宏子	土田宏子
秋元通子	岩見定女	川崎秀子	佐久間佳代子	津村典子
浅井節子	印出厚子	川嶋昌子	桜井光子	永島淀子
朝隈蓉子	植松由利子	河西実花子	篠川清子	永野弘子
葦原玲子	氏家 幸	神崎キワ子	笹本美園	永渕由美子
畦倉信子	内田瑛子	神田安子	佐藤淑江	中山和子
阿部由子	榎谷純子	北村尚子	佐藤亮子	永山高子
阿部由子	榎本良子	吉瀬絵利	志取美智子	成島眞紀子
雨宮朋子	大川裕代	木下和子	志田瑛子	西野里江子
新井愛子	大竹雅子	木山たつえ	篠竹順子	西村恵理子
有泉迪子	大野幸子	桐野均美	柴田淑子	野村桃子
有浦良子	大森紀美	草地蒼生子	柴田頼子	長谷川美子
五十嵐和子	大森則子	楠橋静枝	柴田千春	畑 亜矢子
五十嵐宣子	大類敏子	栗林由紀子	清水弥生	服部利枝
五十嵐由貴	岡部久仁子	栗原智絵	清水麗子	早 舩和子
池崎優日	岡本雅子	栗原淑子	杉谷早苗	横山卯美
池田真弓	荻野経子	黒澤教子	杉前加代	横溝多喜子
石井ふく子	尾高尚子	剣持香世	鈴木栄子	横山京子
石川明子	落合 麗	鋳持千鶴	鈴木典子	吉岡京子
石川恵美子	小野美喜子	小池圭子	墨谷祐子	吉野直子
石島美幸	恩田みね子	鯉沼光子	副島多美子	吉原裕子
石関悦子	貝吹和代	河野順子	高橋知成	吉松和子
石田寿麻子	片桐陽子	河野未也子	高橋ほのみ	渡辺 操
石田光子	葛城洋子	後藤敏子	高橋めぐみ	渡辺 静江
五十里佑子	加藤栄理	小場美佐子	高橋陽子	綿引文枝
一ノ倉環子	加藤登志江	小林順子	高橋芳子	和知文代
伊藤明子	加藤朋子	小林将志	田上侑子	匿名希望(二名)

森田愛子さんと幸子さん

二〇二〇年九月、短大卒の森田愛子さんが逝去されました。76歳。武蔵野美術短大もご卒業で、東京文化小学校で図工の担当でした。学園祭、行事などで活躍されました。

十二月には、お母様の森田幸子さんが永眠されました。百三歳。卒業後、本校前身の女子経専門学校の事務所に、学制が変わってから、学園事務所に勤められ、会計課長で退職。その後は福岡県に

同窓会室にて
森田幸子と娘(坪川愛子)

戻って、中学生に俳句と英語を指導されました。心よりご冥福をお祈りしております。

同窓会名誉会長

森本晴生

昨年度のイベント

すべて中止

二〇二〇年開催を予定し、延期しました「〇の会」は、残念ながらコロナの為、中止となりました。同窓会の行事を楽しみにして頂いて、これからという時に無念です。

コロナウィルスの収束のめどが立つまで、小羊会・成人を祝う会(はたちを祝う会・日帰りバス旅行・〇の会など、同窓会イベントを開催できません。再開できる日が来ましたら、ご連絡致します。

副会長 富士ひろみ

おくやみ

高校42期(ほのぼの会)短大44期 上村恵美子(旧姓石崎)さんが二〇二〇年十一月二十九日に逝去されました。何時も変わらぬ明るい笑顔に二度と会えないこといまだに信じられません。心よりご冥福をお祈りしております。

むつみ会幹事長
ほのぼの会幹事

榎本良子

恩師近況

朝倉寿夫先生

昨年二〇二〇年3月31日をもって定年退職いたしました。一九七九年奉職以来東京文化学園・新渡戸文化学園には40年間お世話になりました。この間、学級活動や学校行事を通して、私自身もたくさん学びを経験することができました。出会った子どもたちと保護者のみなさまに感謝です。

退職が新型コロナウイルスの蔓延時期と重なったこともあり、現在ではもっぱら東京の西のはずれで「Stay Home」を続けながら、近所に借りた畑で無農薬・有機栽培の野菜作り「Stay Farm」生活を送っています。手間をかけた野菜の味は格別です。



佐藤善一先生

高校校長時代は改革・変革であつという間に過ぎていきま



原 たつえ先生

私が40年近い年月を過ごした新渡戸文化学園は、出会った多くの学生たちとの思い出がふれる懐かしい場所です。

退職後は子ども食堂をはじめとした地域活動で世代を超えた交流の場を広げています。子ども達の居場所作りとしての食堂は、コロナ禍で食事の提供は自粛せざるを得ないのですが、地域や企業、フードバンク等から提供される食品の配布を地道に続けています。写真は作業をいっしょにお手伝いしてくれるかわいい姉妹と写したものです。



した。

森本晴生前理事長から本学の理事会監事に誘われ、その後理事、高校校長として、医療系進学コースの新設、その後、美術コース、音楽コース、クッキングコースを増設し今日に至っています。生徒数も増え進学実績も上がり、改革の成果が見えてきたようですね。

退職しちょうど一年。今は、文科省学習支援ボランティアや大学短大認証評価委員などの仕事に半日使い、後の半日はウオーキングで足腰を鍛えています。先日板橋駅から中山道を大宮まで30キロ歩きました。同窓生の皆様の健康とご発展を心から祈っております。

自律する子どもと大人

新渡戸文化子ども園
園長 鈴木恵美子

＜自律する子ども＞

プロジェクト保育を始めて六年目になる今年は、始業式後に、進級のお祝い集合写真撮影会を行った。年少組は時間がかかり、年中組はそれなりに。しかし、年長組の撮影を見ていて驚いた。先生達がなにも言わなくとも、とてもスムーズに短時間で撮影が終了した。その間、チーム担任三名の先生達は声を上げていない。写真屋さんが「はいチーズ」と声を掛けただけだ。入場から撮影までわずか五分で終了した。よくよく話を聞いてみると、先生が「こうゆう理由でお写真を撮るんですよ」とクラスで事前にお話をし、「どうしたらいいか自分で考えてお写真を撮ってもらおうね」のやさしい言葉を掛けたのみ。にもかかわらず、自分が何をすべきか考え、指示を受けなくても撮影に臨む園児の姿は、すでに卒園式ができるのではないかというほどの成長を実感した。この事実こそ、長い時間を掛けて積み上げてきたプロジェクト保育の教育効果の顕れであり、喜びとともに園児達の吸収力・成長力の高さに改めて驚いている。



＜大人の自律＞

さて、先生達はどうだろう。写真を撮るための場所の設営、服装等をしつかり確認できていただろうか。言われた時間を守るタイムマネジメントはできていただろうか。チームで仕事を進める際、自由に工夫して考え進めていく裏側には自己責任がセットでついてくる。

子どもたちが、自分で考え工夫して、そして自分の責任で進み成長する姿を目の当りにすると、大人の私たちも「もっと自律しなくては」と気付きと学びの日々が続いていく。



© 講談社/森清

私は昭和三十三年の春、東京文化小学校に入学した。第十一期生である。

一九五八年の入学と言ったほうがわかりやすさろが、西暦表記の一般化はその六年後の東京オリンピック以降で、当時の私は生年の昭和二十六年が西暦何年にあたるのかも知らなかったと思う。

そうした時代にあつて、私立の小学校に通う子供らは紛れもない貴種であつた。終戦からわずか十三年、社会は

いまだ混沌としていた。どうか復興をなして、後と言う高度経済成長の端緒についたころであろう。

私は幼稚園から文化学園に通つた。学校にほど近い中野区鍋屋横丁に自宅があり、三歳年上の兄も文化に通つていたからなのだが、

特別寄稿

文化のしるし

浅田次郎

六年間の在学期間中に、世の中は著しく変わった。高度経済成長とともに身丈も伸びたが、同時に翻弄された世代でもあつた。

いわゆる「家庭の事情」もそれぞれ変化するので、しばしば転校生の出入りがあつた。

六年間の在学期間中に、世の中は著しく変わった。高度経済成長とともに身丈も伸びたが、同時に翻弄された世代でもあつた。

いわゆる「家庭の事情」もそれぞれ変化するので、しばしば転校生の出入りがあつた。

何はさておき経済的に恵まれていたのである。父は戦後の闇市を振り出しにして成功し、写真機材の御問屋を営んでいた。

今日とはちがひ、すこぶる子供の多い時代であつた。おそらく公立の小学校は、どこも千人以上の在校生を抱えていたであろう。だから一学年一学級の

み、しかも四十人程度というのは、それだけでも特別な小学校だつた。

それもまた、世代の背負つた宿命だつたのだろう。

私の家も小学校四年時に破産したが、周囲の援助を得てどうにか転校はせずにすんだ。たしか私自身も、ずいぶん駄々をこねた記憶がある。しかしその結果、親類の家を転々とする羽目になり、いつときは現在の西

東京市田無から、片道二時間をかけて通学した。高学年の補習授業は午前七時五十分が始まつたので、真冬などはまだ暗い

べき場所を文化の学び舎に求めていた。

けつして貴種ではない。だが、貴種たらんと信ずること大切である。そうでなければ、文学を志してから一冊の本を世に問うまでの二十数年を、支え切れたはずはなかった。

あれこれ思いを致さばきりがないが、厳格で清廉な学園生活において授けられた恩沢は、まさしく「文化のしるし いや高し」の一行に尽きるのである。

著者紹介



浅田次郎氏は、本名・岩戸康次郎、日本の著名な作家である。東京文化小学校(現・新渡戸文化小学校)では私の十年後輩にあたる。今では、私がほぼ傘寿で、岩戸君は古希。でも、今日の小学生からみれば、高齢者と一緒にくられてしまうだろう。

近所の鍋屋横丁が舞台となつた彼の出世作「地下鉄(メトロ)に乗って」は、丸の内線の新宿から荻窪への延伸からストーリーが始まる。これは一九六二年一月のことで、私は二十歳、彼は十歳で、私は彼の二倍の人生経験があつた。私の小・中・高の時代は、青梅街道を都電14番が走っていた。

昨今の彼は、虚実皮相の間の時空を飛び回り、面白い小説を次々と発表する。私は愛読者の一人として、鶴首し畏敬するのみである。このたび、同窓会誌『泉』に寄稿を依頼したところ、快諾してくれた。多謝。

私と岩戸君との共通点は、担任の鈴木光雄先生である。玉稿に鈴木先生の面影がちらつくのは、そのせいなのだろう。

岩戸君が文小六年の時、クラスで多磨墓地へ、新渡戸稲造先生、森本厚吉先生の墓参に行った。そのときの記念写真に写っているこの14名が、六年生男生徒全員で、後列右から二人目が岩戸君である。

臨床検査の現場から(第5回)

初めての実験

上尾中央総合病院
検査技術科

奥住(館野)捷子(S37卒)

看護職は、まだ女性だけの仕事で白衣の天使・看護婦と言われていた一九六三年(54年前)のことです。ユニホームの型式(スカートのスラックスか)選

びで病院内の議論が分かれまじた。清潔で働きやすく安全なユニホームに決めたいとの要望から、スカートとスラックスの違いで、落屑に伴い微生物がどの程度落下(環境汚染)するかを測定することになりました。

手術部内の1手術室を借用、空調を停止し、10名の参加者が交互に高圧滅菌乾燥した2種類のユニホームを着て、10分間、同じ場所ですてで開閉脚、上下跳躍を繰り返して、床に置いた血液寒天培地に発育した細菌の集

落数を調べました。

結果は、スカートが細菌の集落数が多く、スラックスが少ないと出ました。詳細に解析すると、出勤前にシャワーを使い、下着を交換して着用後1時間以内、その間排便のない人であれば、スカートでも、スラックスでも集落数は殆ど変わらず少ない結果でした。

現在では看護職のシンボルマークであったナースキャップは廃止され、スラックスが採用されています。多くの職場が、白のスラックスと色物の上着となり、上着の色で職種を分けています。白いスラックスでは汚

れが目立つ、下着が透けて見えるという口実で、今年4月上尾中央総合病院の看護職は、黒を基調とし、肩の部分8cm幅に緑色入り、左肩に病院のロゴマーク付きとなりました。私たち技師職は、紺色を基調としたユニ

ホーム(写真)で、業務時は、その上に白衣を着用しています。細菌検査室内の作業は、ユニホームの上にブルーの白衣を着用し、他の検査室の白衣と識別しております。

プランチラボからの
患者様支援(株)ビー・エム・エル
院内検査管理部

佐藤(倉島)幸緒(S63卒)

私の好きな場所。三陸復興国立公園の種差海岸にある「種差天然芝生地」です。ウニ漁が盛んで、特産の鮑と青ジソと一緒に煮た汁物の「いちご煮」が有名です。



「プランチラボ」という形態の検査室をご存知でしょうか。プランチラボでは検体検査を病院から委託され、病院内の検査室で検査を行います。私は現在、青森県八戸市内の病院のプランチラボで、検査センター(衛生検査所)の臨床検査技師として細菌、免疫血清、一般検査を担当しています。

プランチラボの第一の役割は質の高い検査を提供することです。また、チーム医療への参画も求められます。私は病院での検査業務に就任した4年目に認定臨床微生物検査技師を、翌

病院実習

本学臨床検査学科の3年生は、4月から病院実習をしています。順天堂大学医学部附属練馬病院臨床検査科にいられた2名に、ひと言印象をお願いしました。

苦手な超音波検査が
興味深い検査に

実習生 石平 彩乃

病院で実際に検査の見学・体験をし、学校では学べないことを多く学ばせていただきました。特に心電図検査・超音波検査の実習では実際に患者さんと接し、患者さん一人ひとりに寄り添うことの大切さを感じました。また、私は実習を行うまで超音波(エコー)検査には苦手意識がありましたが、病気の所見を実際に目にしたり、先生方のご指導により理解を深めることが出来、それと同時にとても楽しく感じるようになりました。さらに、※ラジオ波焼灼療法の見学という貴重な体験をさせていただき、臨床検査技師の役割・幅の広さ・責任の重さを改めて感じるようになりました。

こういった検体採取や採血、心電図検査などの生理機能検査は患者様に直接触れるため法律上「医行為」とされています。プランチラボは病院内の衛生検査所であり、医療機関ではないため「医行為」を「業」として行えません。

このように同じ臨床検査技師という立場でも、所属によって役割が異なるのです。プランチラボでの業務が病院と患者様の力になれるよう、私はこれからも「自分にできることを提供する」をモットーに、頼られる臨床検査技師であり続けたいと思っています。

※肝臓にできた悪性腫瘍の治療法で、超音波で観察しながら、皮膚から電極針を腫瘍の中心に刺し、ラジオ波という高周波の電流を流して針の周囲に熱を発生させ、腫瘍を焼き切る治療方法。

(次頁へ)

日常業務を知る 大切な機会

実習生 三浦 千尋



左より
三浦 (7面)、石平 (6面)、大橋久美子技師 (1996年卒)

私が順天堂大学練馬病院内の臨床実習で感じたことは、実際の臨床現場を見ないとわからないことが多いことです。例えば生理機能検査の心電図では、必ずしもベッドの上に仰向けになることができる人ばかりではないこと。この場合、患者さんには無理をさせずに座位で記録したり、痛みがある場所にクッションを置いたりして検査を行います。検査を行う上で、いかにスムーズに患者さんに負担がかからないように検査を行うかが大切。また、検査の記録だけでなく、患者さんの表情やちよつとした動作から体調の変化にも気を配ることも大切です。病院実習は普段の授業ではわか

「藤田光一郎賞」を いただきました

順天堂大学医学部附属練馬病院
研修センター

小栗豊子 (S38卒)

藤田光一郎賞は永年にわたり臨床検査医学・臨床検査室の運営管理において多大な貢献をされた臨床検査専門家の功績をたたえるため、「公益信託臨床検査医学研究振興基金」が行っている顕彰事業で、「小酒井 望賞」と共に、毎年1名の受賞者が決定されています。この度、図らずも、令和2年度「藤田光一郎賞」をいただくことができました。受賞理由は「微生物検査



細菌検査室内での実習
大橋技師による安全キャビネットの中での操作の技術指導。
検査室内専用の白衣を着用し、マスク、手袋を装着して作業をする。左より、大橋技師、三浦、石平実習生。

らない検査技師の業務を知ることができる貴重な機会だと思いました。

査の適正な検査法と精度管理の確立による我が国微生物検査の質の向上に対する貢献」ということですが、私としては過分なる光栄と存じております。

昭和38年、母校卒業後、順天堂大学医学部附属順天堂医院に入職、退職前の1年余は、同練馬病院に移り、定年を迎えました。その後、亀田総合病院、手稲溪仁会病院、済生会横浜市東部病院など5か所の病院で臨床微生物検査技師の育成や、微生物検査室の立ち上げを、また、東京医科歯科大学、東京医療保健大学大学院、文京学院大学など6か所の教育施設で、臨床検査技師や看護師を志す学生を対

象に臨床微生物学、医動物学の实習や講義を担当させていただきました。また、順天堂在職中にIICA(独立行政法人国際協力機構)からの要請で、検査の専門家として微生物検査の指導にパラグアイやケニアに出張させていただいたことも想像を超える現実と直面し、生涯忘れえぬ一コマとなっております。

病原微生物や感染症に魅せられ、日常の検査業務のほか、研究、教育と、この道ひとすじで來られたのは、よき師、よき友、よき同僚に出会えたこと、家族の協力、自身の健康と仕事への情熱が大きく関わったと思います。ご指導、ご厚誼を賜ったお一人

お一人に感謝の念でいっぱいです。今後も許される限り、現場に向き、一期一会を大切にしたいと考えております。



授賞式は新型コロナウイルス緊急事態宣言のため中止となり、賞状と盾が送られてきました。写真は済生会横浜市東部病院臨床検査部で、同僚に撮っていただいたものです。

臨床検査学科同窓会

(リブラ会) から

入会式

— 69名が新会員に —

二〇二〇年度の臨床検査学科卒業生の同窓会入会式は、二〇二一年2月22日(月)の13時30分から、中野キャンパスの教室で挙行されました。今年度は69名が新しい会員として入会されました。心より歓迎致します。友達同士の横の絆、学年を含めた縦の絆、他学部との絆をもつて、大いに交流を深めていきたいと思ひます。

臨床検査学科からは、中村健司教授(現 学科長)のほか、臨床検査学科の同窓生である横尾智子教授、高嶋眞理准教授、蜂谷敦子准教授、村越南央子助手、旗野広奈副手が出席して下さい。同窓会からは氏家 幸リブラ会副幹事長が出席しました。今年度の学年幹事は4名が選出され、今後、同窓会の連絡等を担当していただくことにな

りました。
今年度は会の最初に中村教授から「リブラ」の名称について解説していただくことができ、新会員には「リブラ会」の会名を強く印象付けていただけたと思います。

本年度の入会式は新型コロナウイルスの緊急事態宣言中であつたため、会員の交流会等はできませんでしたが、このことは現在の世相を反映した入会式として印象に残るのではないのでしょうか。本年度こそは、臨床検査学科とリブラ会合同の「臨検・リブラ臨床検査学研修会」が開催でき、同窓生・在学生の親睦が深められることを期待します。
(小栗 豊子)

二〇二一年三月卒業幹事名簿

短期大学生生活学科

神崎 蒼依

佐々木未桜

長沢 卓実

山崎 渉

短期大学臨床検査学科

佐藤 綾乃

馬場 仁美

基 奈津美

國分 祐介

高校

濱田 憲

山本 夏輝

小学校

酒匂 侑那

田中 七虹

五十嵐翔大

土屋七緒美

千葉 優樹

松下 心優

小林 丈隼

月舘 由愛

二〇二〇年度 短期大学卒業式

二〇一九年度同様、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として、縮小開催にて、二〇二一年3月11日に挙行政されました。すなわち、臨床検査学

メッセージ

新渡戸文化学園の各学校を卒業された方々、ご卒業おめでとうございます。

これから皆様は、新渡戸文化学園同窓会の会員です。同窓会は会員の相互の親睦を図り、会員の知徳を高め社会に貢献し、母校の隆盛を図ることを目的とした団体です。

新しく幹事になられた方には、クラスのまとめ役と同窓会との連絡窓口になっていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

新渡戸文化学園同窓会



科、生活学科食物栄養専攻、生活学科児童生活専攻及び専攻科児童生活専攻の3部に分け、保護者様、ご来賓の方のご出席をご遠慮いただき、学生と教職員のみで執り行いました。

壇上と学生席の間は10メートル近く空け、また、学生同士の席間も十分に空けて配置し、感染対策としました。保護者向には、リアルタイムでオンライン配信して、多くのご家族にご子息ご息女の晴れの場をご覧いただきました。

一面の写真は、生活学科食物栄養専攻の様子です。上の写真は、卒業式後、初代校長新渡戸稲造先生の胸像の前でのスナップ写真です。

事務局だより

☆ 氏名・住所などの変更届け

氏名には必ずフリガナを書いてください

登録番号

卒業学校

住所・電話番号

☆ 会費納入のお願い

払い込みには同封の払い込み取扱票をご利用ください。

重複して納入された場合は、返金致しかねますので、ご了承ください。

☆ クラス会など開催の報告をお寄せ下さい。

卒業校・卒業年・簡単なコメント・掲載可能な写真などを添えてください。

本誌「泉」に掲載させていただきます。

☆ 同窓会の個人情報の取り扱いについて

個人情報を適切かつ厳重に管理し、破壊、改ざん及び漏洩が起きぬよう安全対策を講じております。



同窓会事務局開室時間
毎週 月・水・金
10:00～15:00
夏季、冬季休業あり

「新渡戸文化学園同窓会
オリジナルエコバック」

このたび「新渡戸文化学園同窓会オリジナルエコバック」が完成しました。

紺色に白字のロゴマークが入ったシンプルなデザインのエコバックです。小さくまとめるので鞆の中に常備でき、とても便利です。

手触りがよく、洗濯も出来る同窓会エコバックのご購入を希望される方は、同窓会事務局までご連絡ください。

販売価格は九〇〇円（送料込み）を予定しています。

同窓会事務局より



編集後記

コロナ禍により同窓会は開店休業状態。今号の紙面は、依頼原稿によって埋めることができた。寄稿して下さった方々、感謝です。充実したものになったと自画自賛。ワクチン接種も始まり、社会も変化しつつある。同窓会の活動が一日も早く正常に復することを祈るばかりである。

(M)